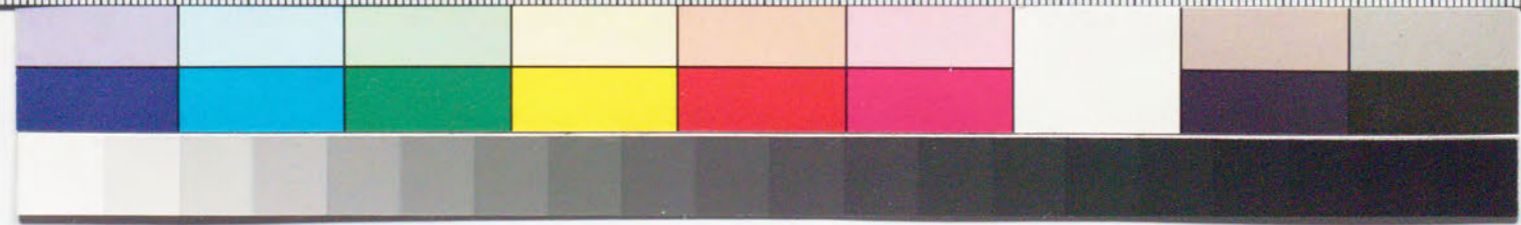


目録

平家物語
卷第三

W
913.434
H51



R

8/0/350



平家物語卷第三目錄 五十二

▲五十一 中 ちかきしるし

ちかきしるし ちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし

▲五十 ちかきしるし

ちかきしるし ちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし

▲四十九 ちかきしるし

ちかきしるし ちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし

▲四十八 ちかきしるし

ちかきしるし ちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし

▲四十七 ちかきしるし

ちかきしるし ちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし
ちかきしるしのちかきしるしのちかきしるし

其 一
 其 二
 其 三
 其 四
 其 五
 其 六
 其 七
 其 八
 其 九
 其 十
 其 十一
 其 十二
 其 十三
 其 十四
 其 十五
 其 十六
 其 十七
 其 十八
 其 十九
 其 二十
 其 二十一
 其 二十二
 其 二十三
 其 二十四
 其 二十五
 其 二十六
 其 二十七
 其 二十八
 其 二十九
 其 三十
 其 三十一
 其 三十二
 其 三十三
 其 三十四
 其 三十五
 其 三十六
 其 三十七
 其 三十八
 其 三十九
 其 四十
 其 四十一
 其 四十二
 其 四十三
 其 四十四
 其 四十五
 其 四十六
 其 四十七
 其 四十八
 其 四十九
 其 五十
 其 五十一
 其 五十二
 其 五十三
 其 五十四
 其 五十五
 其 五十六
 其 五十七
 其 五十八
 其 五十九
 其 六十
 其 六十一
 其 六十二
 其 六十三
 其 六十四
 其 六十五
 其 六十六
 其 六十七
 其 六十八
 其 六十九
 其 七十
 其 七十一
 其 七十二
 其 七十三
 其 七十四
 其 七十五
 其 七十六
 其 七十七
 其 七十八
 其 七十九
 其 八十
 其 八十一
 其 八十二
 其 八十三
 其 八十四
 其 八十五
 其 八十六
 其 八十七
 其 八十八
 其 八十九
 其 九十
 其 九十一
 其 九十二
 其 九十三
 其 九十四
 其 九十五
 其 九十六
 其 九十七
 其 九十八
 其 九十九
 其 一百

其 一
 其 二
 其 三
 其 四
 其 五
 其 六
 其 七
 其 八
 其 九
 其 十
 其 十一
 其 十二
 其 十三
 其 十四
 其 十五
 其 十六
 其 十七
 其 十八
 其 十九
 其 二十
 其 二十一
 其 二十二
 其 二十三
 其 二十四
 其 二十五
 其 二十六
 其 二十七
 其 二十八
 其 二十九
 其 三十
 其 三十一
 其 三十二
 其 三十三
 其 三十四
 其 三十五
 其 三十六
 其 三十七
 其 三十八
 其 三十九
 其 四十
 其 四十一
 其 四十二
 其 四十三
 其 四十四
 其 四十五
 其 四十六
 其 四十七
 其 四十八
 其 四十九
 其 五十
 其 五十一
 其 五十二
 其 五十三
 其 五十四
 其 五十五
 其 五十六
 其 五十七
 其 五十八
 其 五十九
 其 六十
 其 六十一
 其 六十二
 其 六十三
 其 六十四
 其 六十五
 其 六十六
 其 六十七
 其 六十八
 其 六十九
 其 七十
 其 七十一
 其 七十二
 其 七十三
 其 七十四
 其 七十五
 其 七十六
 其 七十七
 其 七十八
 其 七十九
 其 八十
 其 八十一
 其 八十二
 其 八十三
 其 八十四
 其 八十五
 其 八十六
 其 八十七
 其 八十八
 其 八十九
 其 九十
 其 九十一
 其 九十二
 其 九十三
 其 九十四
 其 九十五
 其 九十六
 其 九十七
 其 九十八
 其 九十九
 其 一百

あづみわのこぞやこぞさうらねてあなご
 といふにちかきひのあつきの浪よきとてさ
 びくちやひりんとて入るひぬ。まはるい
 がのあいののさなはらういへひめい
 うがらわちまのゆきまきとぞあき
 出候はまはらういへひめい
 よ出候おたのほおとておまのさうら
 ひらやういへひめい
 海客のまはらういへひめい
 七月の初めにいへひめい

▲ついでついで

出候の舟なまの射りし海客とてあなご
 あたりあがり。そよ風の浪よきとてさ
 事あなごの舟はまのさなはらうい
 くまのさなはらういへひめい
 してまのさなはらういへひめい
 してまのさなはらういへひめい
 してまのさなはらういへひめい



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter 'P'. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter 'P'. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 25 horizontal lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting. The document appears to be a page from a book or a manuscript, with some ink bleed-through visible from the reverse side. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. The lines of text are closely spaced and fill most of the page area. There are some small, illegible markings and possibly a faint stamp or signature at the top right corner of the page.

1. 聖なる神の御名を稱へば
 2. 天の宮の御座の御名を稱へば
 3. 地の宮の御座の御名を稱へば
 4. 水の宮の御座の御名を稱へば
 5. 地の宮の御座の御名を稱へば
 6. 地の宮の御座の御名を稱へば
 7. 地の宮の御座の御名を稱へば
 8. 地の宮の御座の御名を稱へば
 9. 地の宮の御座の御名を稱へば
 10. 地の宮の御座の御名を稱へば

11. 地の宮の御座の御名を稱へば
 12. 地の宮の御座の御名を稱へば
 13. 地の宮の御座の御名を稱へば
 14. 地の宮の御座の御名を稱へば
 15. 地の宮の御座の御名を稱へば
 16. 地の宮の御座の御名を稱へば
 17. 地の宮の御座の御名を稱へば
 18. 地の宮の御座の御名を稱へば
 19. 地の宮の御座の御名を稱へば
 20. 地の宮の御座の御名を稱へば

Main body of handwritten text in a cursive script, spanning across the gutter of the open book.

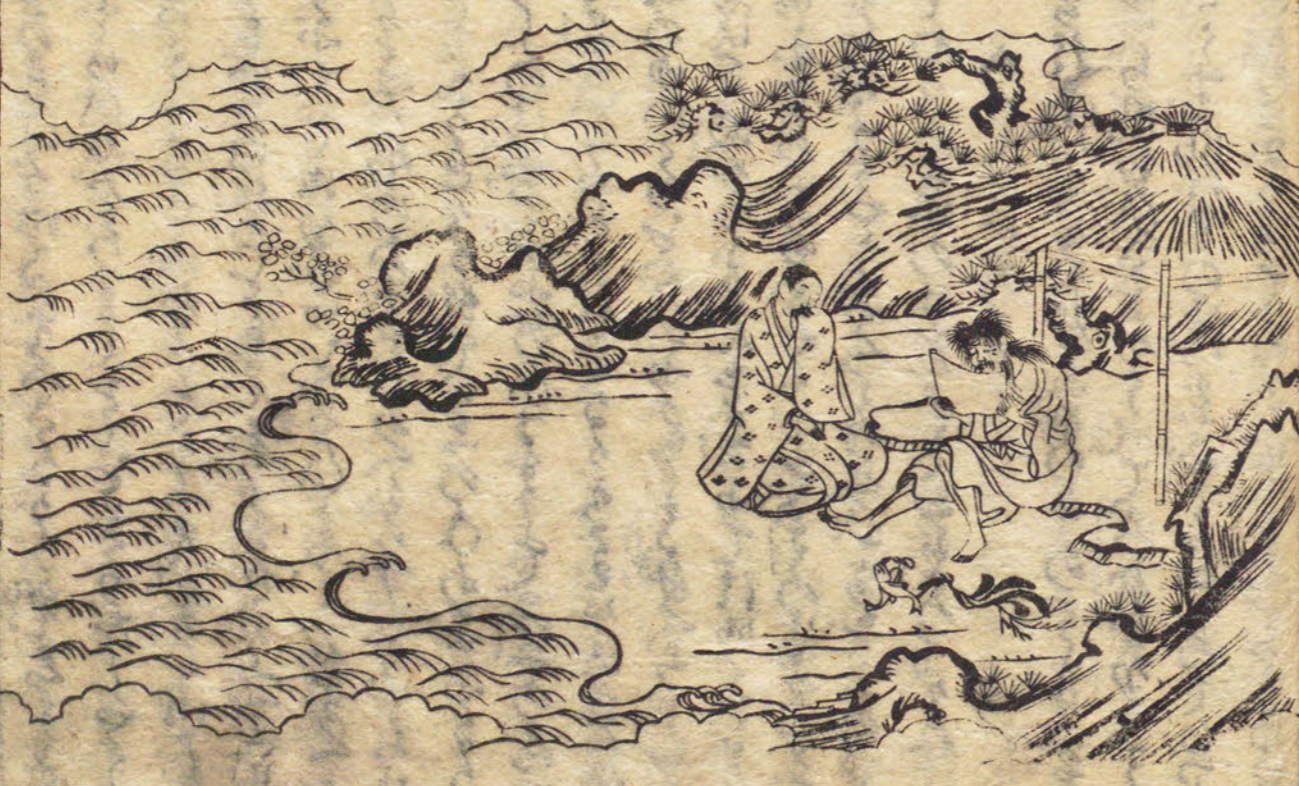
此書の序文は、平家朝臣の
 功績を讃揚し、その忠義を
 後世に伝えることを目的と
 して書かれたものである。序文
 の内容は、平家朝臣の幼少
 時分からその成長過程まで
 詳細に記述されている。序文
 の最後には、平家朝臣の没
 命の経緯が簡潔に述べられ、
 その悲劇的な最期が強調さ
 れている。序文の文体は、
 簡潔明快であり、感情豊か
 な表現が多用されている。序
 文の全長は、約五百字に及
 ぶ。序文の成立は、平家朝臣
 の没命後、その功績を後世に
 伝えることを目的として書か
 れたものである。序文の成立
 時期は、平家朝臣の没命後、
 その功績を後世に伝えること
 を目的として書かれたもので
 ある。序文の成立時期は、平
 家朝臣の没命後、その功績を
 後世に伝えることを目的とし
 て書かれたものである。序文の
 成立時期は、平家朝臣の没
 命後、その功績を後世に伝え
 ることを目的として書かれた
 ものである。序文の成立時期
 は、平家朝臣の没命後、その
 功績を後世に伝えることを目
 的として書かれたものである。

序文の成立は、平家朝臣の
 没命後、その功績を後世に
 伝えることを目的として書か
 れたものである。序文の成立
 時期は、平家朝臣の没命後、
 その功績を後世に伝えること
 を目的として書かれたもので
 ある。序文の成立時期は、平
 家朝臣の没命後、その功績を
 後世に伝えることを目的とし
 て書かれたものである。序文の
 成立時期は、平家朝臣の没
 命後、その功績を後世に伝え
 ることを目的として書かれた
 ものである。序文の成立時期
 は、平家朝臣の没命後、その
 功績を後世に伝えることを目
 的として書かれたものである。

Main body of handwritten text in Arabic script on the right page, consisting of approximately 20 lines of dense cursive writing.

Main body of handwritten text in Arabic script on the left page, consisting of approximately 20 lines of dense cursive writing.

Handwritten text in a cursive script, likely Persian or Arabic, arranged in a single column on the right page of the manuscript. The text is densely packed and covers most of the page's width.



Small vertical text or a signature located on the left edge of the illustration area.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script.

A small heading or section marker located at the top of the right page.

Text block on the right page, positioned below the section header.

Main body of handwritten text on the left page, continuing the script from the right page.

A small heading or section marker located at the top of the left page.

Text block on the left page, positioned below the section header.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 25 lines of text, arranged in two columns across the two pages of the open book. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

Handwritten text on the left margin of the left page, possibly a page number or a reference mark.

Handwritten text on the right margin of the left page, possibly a page number or a reference mark.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 25 lines of dense cursive script.

ぬきまのひてのいやしきとてしるをなむあはれ
 ねのほえまほよりけりいぬいのおとしよ
 しのせまらへかすみあまのりいんすくちをば
 なるおいらのけりけるあまのりいんすくちの
 のけりいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありてあまのいぬいのいぬいのいぬいの
 ろのけりいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 らしきとてしるをなむあはれ
 ぬきまのひてのいやしきとてしるをなむあはれ
 ねのほえまほよりけりいぬいのおとしよ
 しのせまらへかすみあまのりいんすくちをば
 なるおいらのけりけるあまのりいんすくちの
 のけりいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありてあまのいぬいのいぬいのいぬいの
 ろのけりいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの
 ありいぬいのいぬいのいぬいのいぬいの